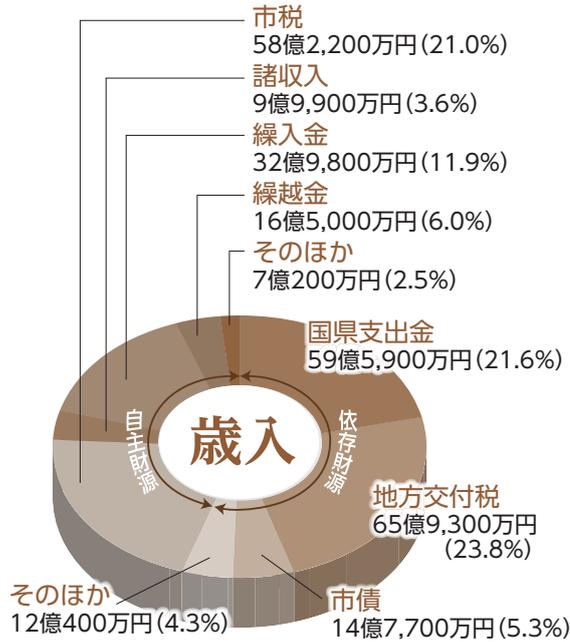
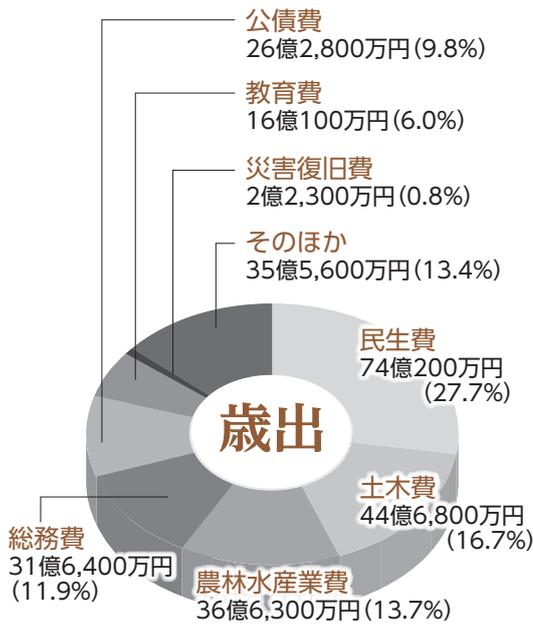


# 平成29年度 決算概要報告

**歳出 267億500万円**  
前年比112億4,600万円(29.6%)減

**歳入 277億400万円**  
前年比123億200万円(30.8%)減



- 【民生費】** 高齢者福祉や子育て支援、生活保護など福祉事業の経費
- 【土木費】** 住宅施設や道路整備などの経費
- 【農林水産業費】** 農業や水産業振興などの経費
- 【総務費】** 市税、行革など行政の総合的な運営にかかる経費
- 【公債費】** 借りたお金や利子の返済の経費
- 【教育費】** 学校教育や生涯学習の経費
- 【災害復旧費】** 道路や漁港などの復旧の経費
- 【そのほか】** 防災、商工振興、保健などの経費

- 自主財源**
- 【市税】** 市民税や固定資産税など市に納められた税金
- 【諸収入】** 貸付金の返済など
- 【繰入金】** 東日本大震災復興交付金基金からの繰入など
- 【繰越金】** 前年度からの繰越金
- 【そのほか】** 使用料や手数料など
- 依存財源**
- 【国県支出金】** 国・県が必要と認めた事業に対し配分されるお金
- 【地方交付税】** 人口や税収などに応じて国から配分されるお金
- 【市債】** 施設を造るときなどに借りたお金
- 【そのほか】** 国から交付される譲与税など

市の会計は、一般会計・特別会計・企業会計の3種類に分けられます。各会計の平成29年度の決算概要をお知らせします。

平成29年度は、新塩竈市魚市場の全面供用開始や、今年7月の津波防災センターの展示施設オープンなど、復興達成の総仕上げに向けた「復興実りの年」として、復旧・復興事業が大きく進展しました。

また、子ども医療費助成事業の対象年齢を高校3年生まで拡大したほか、塩竈アフタースクール事業や小中一貫教育推進事業の本格実施など、第5次塩竈市長期総合計画と塩竈市震災復興計画を両輪とした取り組みを行いました。

## 一般会計



平成29年度の一般会計は、歳入277億400万円、歳出267億500万円、差引額が9億900万円でした。平成30年度に繰り越した事業を実施するための財源を除いた実質収支は7億8,400万円の赤字になりました。

## 大型復旧・復興事業の完了

### 歳入

歳入決算額は、277億400万円の前年度より123億200万円の減でした。主な内容は、災害公営住宅整備事業で全戸完成を迎えるなどの大型復旧・復興事業の進捗によるもので、その財源となる繰入金が92億6,400万円の減、市債が9億5,900万円の減でした。

一方、市税では、震災減免の縮小などにより、1,400万円増の58億2,200万円でした。しかし、市税は未だ震災前の水準には達しておらず、国庫支出金や地方交付税などの依存財源に頼る状況にあるため、今後も、市税をはじめとした自主財源のさらなる確保に努める必要があります。

### 歳出

歳出決算額は、267億500万円の前年度より112億4,600万円の減でした。主な内容は、災害公営住宅整備事業で昨年度に全戸完成を迎えたことにより81億6,900万円の減、大型の復興事業が完了し、東日本大震災復興交付金積立金で9億8,200万円の減となり、復興への総仕上げに向かっていくことが分かる決算となりました。



▲高度衛生管理型の新塩竈市魚市場には、塩竈市の水産業を学べる展示室も完成



▲観光振興ビジョンシンポジウム

### 平成29年度の主な事業

総務費	ふるさとしおがま復興基金積立金 東日本大震災復興交付金基金積立金	5億6,900万円 1億8,100万円
民生費	児童手当事業 子ども医療費助成事業 藤倉児童館および放課後児童クラブ指定管理運営事業	7億3,400万円 1億5,300万円 1億2,600万円
農林水産業費	高度衛生管理型荷さばき所整備事業 野々島地区漁業集落防災機能強化事業 柱島地区漁業集落防災機能強化事業	26億1,800万円 2億8,200万円 1億2,900万円
土木費	港町地区津波復興拠点整備事業 海岸通地区震災復興市街地再開発事業 新浜町杉の下線道路事業	4億6,600万円 2億8,300万円 1億7,600万円
教育費	小学校長寿命化改良事業 小中学校施設整備事業	7,800万円 4,600万円
災害復旧費	漁港施設災害復旧費	2億2,300万円
その他	割増商品券事業 みなと塩竈・ゆめ博開催事業 塩竈市観光振興ビジョン策定事業	4,500万円 2,000万円 1,900万円

1人あたりに  
いくら使われたでしょう?

市民一人あたり  
**488,932円**

人口と歳出決算額

人口54,619人  
(H30.3.31現在)

267億500万円  
(一般会計歳出決算額)

内訳

総務費 57,929円	民生費 135,521円	土木費 81,803円	農林水産業費 67,064円
教育費 29,312円	消防費 11,864円	衛生費 31,857円	その他 (公債費・災害復旧費など) 73,582円

### 財政の健全化に関する指標

4指標とも早期健全化基準以下でした。「実質公債費比率」は地方債発行の抑制による公債費の減少などにより数値が改善しました。「将来負担比率」は特別会計への繰入見込額の減少などにより数値が改善しました。

健全化判断比率	29年度	28年度	早期健全化基準 ※1	財政再生基準 ※2
実質赤字比率 (一般会計などの赤字を示す指標)	黒字	黒字	13.04%	20%
連結実質赤字比率 (全会計の赤字を示す指標)	黒字	黒字	18.04%	30%
実質公債費比率 (借入金の返済費用の割合を示す指標)	9.6%	10.5%	25%	35%
将来負担比率 (一般会計などが将来負担すべき負債の割合を示す指標)	8.9%	28.8%	350%	なし

※1：財政健全化計画を立て、自主的な改善努力が必要となる基準

※2：財政再生計画を立て、国の関与を受け確実な再生が必要となる基準

一般会計に関する問い合わせは  
財政課 財政係 ☎3555-5814

塩子と釜男も気になる  
「市債」のはなし

歳入にある「市債」って何なの？

市が銀行などから借り入れた借金よ。主に公共施設の建設や老朽化対策の財源として借入したの。災害公営住宅整備事業が大きく減少したこともあって、昨年度から9億5,900万円少ない金額になっているわ。

そうなんだ。あくまでも借金だから、金額は少ない方がいいんだね。

そうね。将来の返済のバランスを考えると借りなくてはならないわね。ちなみに返済額に対して国から地方交付税が配られる場合があるのよ。

東日本大震災を教訓とした防災事業のための借り入れも返済額に応じて配られるの。市では、なるべく地方交付税の措置がある市債の発行に努めているのよ。

特別会計



昨年度に続き、10会計すべてが収支均衡以上になっていきます。一般会計からの繰入金は、復興事業の完了などで前年度より21億1,800万円減の40億1,800万円でした。今後も、安定的な財政運営を図り、健全化に努めます。

特別会計に関する問い合わせは  
財政課財政係 ☎355-5814

事業	歳入決算額	歳入のうち一般会計からの繰入金	歳出決算額
交通事業	3億2,200万円	6,100万円	3億2,200万円
国民健康保険事業	71億5,600万円	4億4,500万円	69億6,400万円
魚市場事業	2億2,100万円	5,600万円	2億2,100万円
下水道事業	72億7,100万円	18億8,700万円	71億7,400万円
漁業集落排水事業	5,400万円	2,400万円	3,800万円
公共用地先行取得事業	1億4,300万円	1億4,300万円	1億4,300万円
介護保険事業	52億8,800万円	7億5,000万円	52億8,800万円
後期高齢者医療事業	6億9,300万円	1億7,000万円	6億8,800万円
北浜地区復興土地区画整理事業	5億3,000万円	3億9,600万円	5億400万円
藤倉地区復興土地区画整理事業	1億6,700万円	8,600万円	1億5,900万円
合計	218億4,500万円	40億1,800万円	215億100万円

水道会計



健全経営の確保

収益的収支税抜 ※1

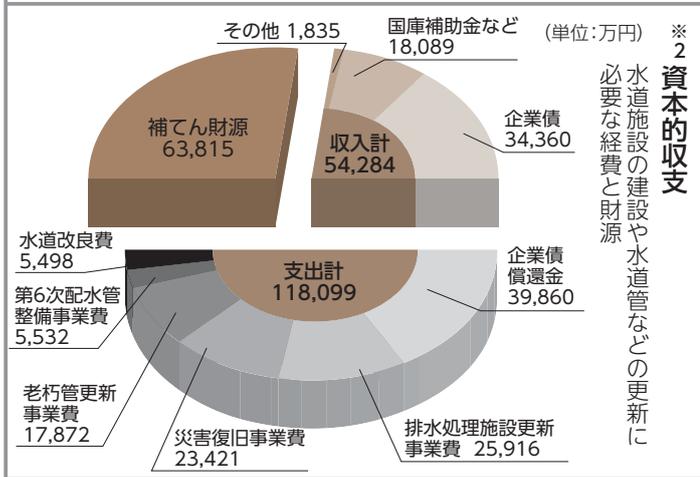
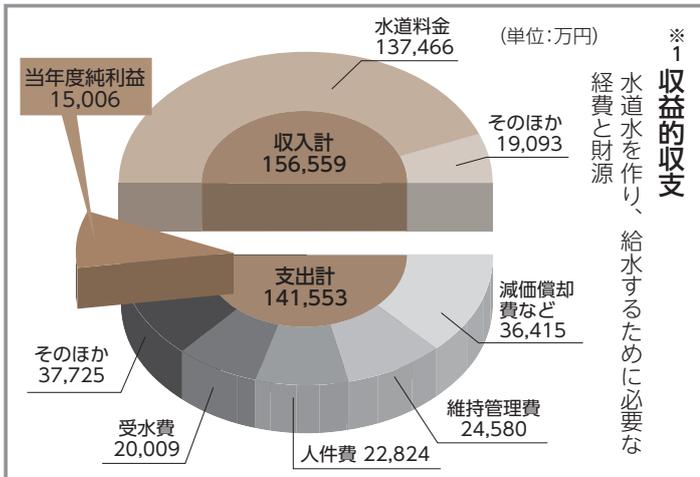
収入は15億6,559万円、支出は14億1,553万円、1億5,006万円の黒字が生じました。

資本的収支税抜 ※2

収入は5億4,284万円、支出は11億8,099万円で、6億3,815万円の資金不足を生じましたが、留保資金などで補てんしました。

利益剰余金

平成29年度水道事業決算では利益剰余金が16億266万円でした。



災害に強い水道の整備

水道施設などの災害復旧工事として平成28年度の繰越事業で港町二丁目、藤倉二丁目地区の3路線(延長1,943.9m)、平成29年度事業で藤倉一丁目、新浜町二丁目地区の2路線(延長502.1m)の配水管敷設替工事を行いました。また、安全安心な給水を図るための第6次配水管整備事業として、月見ヶ丘、藤倉二丁目地区(延長384.4m)の配水管敷設工事を行いました。さらに、災害に強い水道管路の構築を図る老朽管更新事業として、新富町、東玉川町・玉川一丁目、藤倉三丁目、笠神四丁目、下馬三丁目地区の5路線(延長1,577.9m)の配水管敷設替工事を行いました。

排水処理施設の更新

排水処理施設更新事業として、梅の宮浄水場で発生する汚泥を脱水処理するため、排水処理施設を2力年(平成28～29年度)で更新しました。平成29年度は、加圧式脱水機据付などを実施し完了となりました。

また、電気計装類更新事業として、梅の宮浄水場および各配水池の電気計装の老朽化に伴う更新工事の詳細設計を委託しました。

今後も健康で豊かな生活環境を支えるライフラインである水道の安定供給のため、水道施設の耐震化や老朽化した施設の更新に努めます。



▲梅の宮浄水場加圧式脱水機

水道会計に関する問い合わせは  
水道部業務課 ☎364-11415



深しお姫

決算概要

収益的収支(税抜)表①

収入総額28億8,994万円、支出総額28億3,264万円、平成29年度損益は5,730万円の純利益でした。

資本的収支(税込)表②

収入総額1億6,023万円、支出総額2億389万円、不足額4,366万円は留保資金で補てんしました。

収益的・資本的収支 前年度比較

表② 資本的収支(設備投資) (単位:万円)

	29年度	28年度	前年差
総収入 A	16,023	22,039	△6,016
一般会計からの負担金・補助金	3,653	3,409	244
企業債・長期借入金	12,320	18,630	△6,310
国県補助金など	50	0	50
総支出 B	20,389	27,366	△6,977
建設改良費	13,176	19,294	△6,118
企業債償還金	6,563	5,922	641
長期借入金償還金	630	2,150	△1,500
差引 A-B	△4,366	△5,327	961

表① 収益的収支(事業運営費) (単位:万円)

	29年度	28年度	前年差
総収益 ①	288,994	291,860	△2,866
医業収益	247,318	255,637	△8,319
医業外収益	41,675	36,223	5,452
特別利益	1	0	1
総費用 ②	283,264	297,722	△14,458
医業費用	275,711	288,726	△13,015
医業外費用	7,284	8,370	△1,086
特別損失	269	626	△357
当年度純利益 ①-②	5,730	△5,862	11,592

新改革プラン目標の達成状況

「塩竈市立病院新改革プラン」に基づき、医療機能に係る目標<sup>(※1)</sup>と経営の効率化<sup>(※2)</sup>の達成を目指し、収入確保と費用削減に取り組みました。

平成29年度は、一般会計から病院への追加支援があり、新改革プランの目標である、経常収支黒字化を達成しました。その結果、新たな不良債務は発生していません。

主な収入確保の取り組み

- ・ 転入院患者受入強化対策として急性期、高度急性期病院への訪問
- ・ CT・MRI、腹部エコーの検査実施時期の案内送付
- ・ 外来混雑時の職員による駐車場誘導の実施

主な費用削減の取り組み

- ・ 診療材料などの物流管理業務の委託事業者の見直し
- ・ 診療材料切り替えによる診療材料費などの削減
- ・ 検体検査委託業務を院内受託方式から自主購入へ変更
- ・ 電力自由化に伴う電気料契約内容の見直し

※1 医療機能に係る各種数値目標の達成状況

医療機能	果たすべき役割	項目	H28	目標	H29	目標差	達成率(%)
急性期医療	救急患者の受入	1 救急患者受入件数(件/年)	828	1,000	878	△122	87.8
		2 手術件数(件/年)	288	240	221	△19	92.1
	急性期病棟の維持	3 うち全身麻酔件数(件/年)	188	150	173	23	115.3
		4 内視鏡検査件数(件/年)	2,810	2,800	2,797	△3	99.9
		5 内視鏡治療件数(件/年)	272	240	245	5	102.1
		6 CT検査件数(件/年)	3,225	3,240	3,392	152	104.7
		7 MRI検査件数(件/年)	1,169	1,500	1,316	△184	87.7
回復期医療	在宅復帰支援	8 在宅復帰率(%)	90.4	80.0	89.1	9.1	111.4
在宅医療	在宅医療の充実	9 訪問診療件数(件/年)	1,820	1,600	1,853	253	115.8
		10 訪問看護件数(件/年)	2,776	2,600	2,213	△387	85.1
		11 訪問リハビリ件数(件/年)	3,132	3,000	3,115	115	103.8

※2 経営の効率化に係る各種数値目標の達成状況

項目	H28	目標	H29	目標差	達成率(%)
1 病床利用率(%)	86.1	93.9	85.4	△8.5	90.9
2 1日当たりの入院患者数(人/日)	138.6	151.3	137.5	△13.8	90.9
3 入院患者1人1日当たりの入院診療単価(円)	29,820	29,105	29,809	704	102.4
4 1日当たりの外来患者数(人/日)	235.7	276.3	236.2	△40.1	85.5
5 外来患者1人1日当たりの外来診療単価(円)	12,790	10,800	11,636	836	107.7
6 紹介患者数(人/年)	1,456	1,500	1,523	23	101.5
7 人間ドック件数(件/年)	2,665	2,400	2,748	348	114.5
8 脳ドック件数(件/年)	215	150	161	11	107.3
9 健康診断件数(件/年)	4,188	4,300	3,932	△368	91.4

医療機器整備と施設改良事業

診療の効率化を図るため医療機器を整備したほか、快適な療養環境を提供するための施設改良を行いました。

医療機器整備

大腸スコープ/全自動錠剤分包機/ホルタ記録器/汎用超音波画像診断装置

施設改良

三階病棟のGHPエアコン改修工事、ルームエアコンの設置工事/エレベーター更新

地域に貢献する病院としての活動

いのちの授業

市内すべての小学校を訪問し、小学6年生を対象に講演を実施しました。

健康づくりサポーター事業

市民向け講座として公民館で、理学療法士による講座を開催しました。

公開セミナー

誰でも参加できる講座を院内ロビーで開催し、医師や医療スタッフが身近な病気に関する情報を発信しました。



▲「いのちの授業」では、緩和医療内科医師による講演を実施

病院会計に関する問い合わせは  
市立病院業務課経理係 ☎36415221